

事務事業名		緊急連絡管整備事業			会計	水道事業		事業種別	政策	開始	23	終了	29	
H27担当課等名	水道課		H27係等名	上水道整備係		H26係等名		上水道整備係						
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり										
		施策	45	居住基盤の向上										
目的	対象(誰・何を)	妙琴・砂払・野底・沢城浄水場配水系において災害時において断水を回避できる給水人口(最大)						指標名及び単位		26年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	緊急時に浄水場間のバックアップを可能とし断水を回避する。						対象指標	断水を回避できる給水人口(最大) =9,000(m <sup>3</sup> /日)/0.314(m <sup>3</sup> /人・日)=29,000(人)		0			
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度							断水を回避できる給水人口(最大) =215(m <sup>3</sup> /日)/0.314(m <sup>3</sup> /人・日)=680(人)		0			
目標	種別	指標名及び単位						26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	妙琴・砂払・野底 事業進捗率(%)=単年度事業費(累積)/総事業費						65	0	0	87			
	成果指標	沢城 事業進捗率(%)=単年度事業費(累積)/総事業費						41	0	0	100			
定性目標														
事業概要	<p>緊急連絡管(妙琴浄水場～砂払浄水場～野底浄水場)については、関連する道路事業の進捗を見据えてH26については事業休止とした。大瀬木高区～沢城浄水場の間については、H25までに実施してきた沢城浄水場の機能強化により、ろ過が安定してきているため、事業年度の着手を後年度へ先送りすることとした。</p> <p>なお、H27年度から緊急連絡管整備事業の事務事業は、水道長期整備計画の見直しによる優先事業の精査に基づき、現計画に、上黒田配水池の上流域の安定強化となる今宮中継ポンプ場を加え、危機管理対応能力強化事業へ変更する。</p>													
26年度事業内容	事業内容						名称			活動指標				
	妙琴浄水場～砂払浄水場～野底浄水場 φ400mm L=220m						事業進捗率(%)=単年度事業費(累積)/総事業費			0				
大瀬木高区～沢城浄水場 実施設計、φ75mm L=200m						事業進捗率(%)=単年度事業費(累積)/総事業費			0					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		52,817	0	0	55,000									
国庫支出金														
県支出金														
起債		45,000	0	0	41,200									
その他		7,817			13,800									
一般財源			0											
人件費計(千円)②		3,576		358										
正規職員所要時間		1,000		100										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		56,393	0	358	55,000									
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>大口径の水道管理設では、特に、既存道路幅員、占用物を考慮した計画が必要となるため、水道課単独の実施計画ではなく道路計画および進捗に合わせた実施が事業費コスト削減に有効である。</p>													
改革改善の考え方	①問題点	道路改良等の関連事業計画との整合が必要												
	②改革提案	実施に向けて、送水ルート計画を作成し関係部署との調整を図る。												